兵庫区　中央区と兵庫区にまたがる入江地区の市場に住み込み、住民とともにまちづくりに取り組む神戸芸術工科大学の大学院生らが５日、兵庫区の稲荷市場を舞台に、「ａｒｔｉｎａｒｙ（稲荷芸術祭02）」を開く。市場の全商店も参加し、各店自慢のお買い得品による昼食、がらくた市などのイベントがある。（高田康夫）

市場でお昼食べ歩き

神戸芸工大院生ら「芸術祭」企画

稲荷市場（きょう）昔遊び展、がらくた市も

市場との共催イベント「ａｒｔｉｎａｒｙ」の準備に取り組む三宗さん＝稲荷市場

大学院生らが二〇〇三年から取り組む「住みコミュニケーションプロジェクト」。三人が市場内に住み、十人が空き店舗を工房として活用。住民らと交流を深めてきた。

稲荷芸術祭は今年で二回目。昨年は各商店が営業中で参加が難しかったが、今年は営業中を逆手にとり、「ｃａｔｉｎａｒｙ」を企画した。参加者はお盆を持って各商店を回り、イベントに合わせて特価で売り出されるお買い得品による昼食を楽しんでもらう。

ほかにも、商店主らが昔の遊びを紹介する「昭和の子どもたちの遊び展」やがらくた市を開催。同プロジェクトのメンバーは、自らつくった五右衛門風呂の公開や、掘り出し物を展示する。

同プロジェクト代表の三宗匠さん（四）は「商店の人と一緒にイベントができるのは進歩。これを機に若い人が増えて、市場に活気が出れば」と話している。

全商店が参加

午前十時から午後四時半まで。実行委☎０９０・６７３６・０８９８